

(7) 令和2年度上期下水道事業の概況

ア 建設事業の状況

既成市街地の汚水事業では、江戸川左岸流域関連下水道事業について、今年度整備予定面積約20.3ヘクタール（汚水管布設工事13件）の内12件を発注した。また、手賀沼流域関連下水道事業は、整備予定面積約3.3ヘクタール（汚水管布設工事2件）全てを発注した。

つくばエクスプレス沿線整備では、運動公園周辺地区の汚水及び雨水事業の業務委託を締結した。両事業の今年度整備予定面積は、汚水事業が7.3ヘクタールであり、9月末現在で63%を発注した。また、雨水事業が0.3ヘクタールであり、9月末現在、未発注となっている。引き続き地区内造成事業の進捗に合わせて整備を進める。

イ 業務の状況

当期の排水区域人口は、181,476人で、前年同期に比べ8,795人（5.09%）の増加があった。

行政区域内人口と比較する普及率は、91.30%で、前年同期に比べ2.28%の増となった。

ウ 経理の状況

上期における総収益は、1,125,386,473円（税込み）で、前年同期と比べ838,557,771円の減額となった。総費用は、824,667,180円（税込み）で、前年同期に比べ184,168,168円の減額となった。

収益の内訳は、営業収益が1,124,900,078円で前年同期に比べ261,690,455円（18.87%）の減収となった。このほか、営業外収益は454,444円で、前年同期に比べ576,899,267円（99.92%）の減収となった。

次に、費用の内訳では、営業費用が676,022,151円で前年同期に比べ167,591,354円（19.87%）の減額となった。このほか、営業外費用は148,488,587円で、前年同期に比べ16,689,078円（10.10%）の減額となった。

税抜きによる総収益1,023,162,357円から総費用
768,721,441円を差し引いた当期の損益は、
254,440,916円の純利益となった。